

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成30年5月10日 (2018.5.10)

【公開番号】特開2017-158202(P2017-158202A)

【公開日】平成29年9月7日 (2017.9.7)

【年通号数】公開・登録公報2017-034

【出願番号】特願2017-89139(P2017-89139)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/18 (2006.01)

H 0 4 N 5/93 (2006.01)

H 0 4 N 21/431 (2011.01)

H 0 4 N 21/238 (2011.01)

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 7/18 D

H 0 4 N 5/93 0 5 0

H 0 4 N 21/431

H 0 4 N 21/238

H 0 4 N 5/765

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月26日 (2018.2.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

カメラによる撮影結果の静止画を表示する情報処理装置であって、
前記静止画を撮影した撮影時間帯を識別可能に表示するタイムラインと、前記静止画を
表示する表示領域と、を表示する制御をおこなう表示制御手段を備え、
前記表示制御手段は、表示済みの前記静止画を撮影した前記撮影時間帯を前記タイムラ
インに識別可能に表示する制御をおこなうことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

カメラによる撮影結果の静止画を表示する情報処理装置であって、
前記静止画を撮影した撮影時間帯を識別可能に表示するタイムラインと、前記静止画を
表示する表示領域と、を表示する制御をおこなう表示制御手段と、
前記表示制御手段により前記表示領域に静止画を表示している間に所定の条件を満たし
た場合には、前記所定の条件を満たしていることを通知する通知手段と、を備えることを
特徴とする情報処理装置。

【請求項 3】

カメラによる撮影結果の静止画を表示する情報処理装置であって、
前記静止画を撮影した撮影時間帯を識別可能に表示するタイムラインと、前記静止画を
表示する表示領域と、を表示する制御をおこなう表示制御手段を備え、
前記表示制御手段は、前記カメラにより撮影されたライブ動画を前記表示領域に表示す
る制御、及び、前記静止画を撮影した撮影時間帯のうち、表示済みの前記ライブ動画を撮
影した前記撮影時間帯を前記タイムラインに識別可能に表示する制御をおこなうことを特
徴とする情報処理装置。

【請求項 4】

前記表示制御手段により前記タイムラインに識別可能に表示された前記撮影時間帯に対し、ユーザによる指示を受け付ける受付手段を備え、

前記表示制御手段は、前記受付手段により指示を受け付けた前記撮影時間帯に撮影された複数の静止画の一覧を前記表示領域に表示する制御をおこなうことを特徴とする請求項 1～3 の何れか一項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記静止画の一覧は、前記静止画に対するサムネイル画像の一覧であり、

前記表示領域に表示された前記サムネイル画像の一覧の中から、サムネイル画像の選択をユーザにより受け付けるサムネイル受付手段を更に備え、

前記表示制御手段は、前記サムネイル受付手段により選択を受け付けたサムネイル画像に対する前記静止画を前記表示領域に表示する制御をおこなうことを特徴とする請求項 4 に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記表示制御手段は、前記カメラにより撮影されたライブ動画を前記表示領域に表示する制御をおこない、

前記通知手段は、前記表示制御手段により前記ライブ動画を前記表示領域に表示している間に前記所定の条件を満たした場合には、前記所定の条件を満たしていることを通知しないことを特徴とする請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記表示制御手段は、他のユーザによって表示済みの前記静止画を撮影した前記撮影時間帯を前記タイムラインに識別可能に表示する制御をおこなう、請求項 1～6 の何れか一項に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記表示制御手段は、前記カメラにより撮影されたライブ動画を前記表示領域に表示する制御、及び、前記静止画を撮影した撮影時間帯のうち、他のユーザによって表示済みの前記ライブ動画を撮影した前記撮影時間帯を前記タイムラインに識別可能に表示する制御をおこなうことを特徴とする請求項 1～7 の何れか一項に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記静止画は、前記カメラにより撮影された動画に含まれるフレーム画像を含むことを特徴とする請求項 1～8 の何れか一項に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

カメラによる撮影結果の静止画を表示する情報処理方法であって、

前記静止画を撮影した撮影時間帯を識別可能に表示するタイムラインと、前記静止画を表示する表示領域と、を表示する制御をおこなう表示制御工程を含み、

前記表示制御工程は、表示済みの前記静止画を撮影した前記撮影時間帯を前記タイムラインに識別可能に表示する制御をおこなうことを特徴とする情報処理方法。

【請求項 11】

カメラによる撮影結果の静止画を表示する情報処理方法であって、

前記静止画を撮影した撮影時間帯を識別可能に表示するタイムラインと、前記静止画を表示する表示領域と、を表示する制御をおこなう表示制御工程と、

前記表示制御工程により前記表示領域に静止画を表示している間に所定の条件を満たした場合には、前記所定の条件を満たしていることを通知する通知工程と、を含むことを特徴とする情報処理方法。

【請求項 12】

カメラによる撮影結果の静止画を表示する情報処理方法であって、

前記静止画を撮影した撮影時間帯を識別可能に表示するタイムラインと、前記静止画を表示する表示領域と、を表示する制御をおこなう表示制御工程を含み、

前記表示制御工程は、前記カメラにより撮影されたライブ動画を前記表示領域に表示する制御、及び、前記静止画を撮影した撮影時間帯のうち、表示済みの前記ライブ動画を撮

影した前記撮影時間帯を前記タイムラインに識別可能に表示する制御をおこなうことを特徴とする情報処理方法。

【請求項 13】

情報処理装置を、請求項 1～9の何れか一項に記載の情報処理装置の各手段として機能させるための情報処理装置プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

そこで、本発明の目的は、ユーザが確認すべき映像を特定し易くするための仕組みを提供することである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明は、カメラによる撮影結果の静止画を表示する情報処理装置であって、静止画を撮影した撮影時間帯を識別可能に表示するタイムラインと、静止画を表示する表示領域と、を表示する制御をおこなう表示制御手段を備え、表示制御手段は、表示済みの静止画を撮影した時間帯をタイムラインに識別可能に表示する制御をおこなうことを特徴とする。また、本発明は、カメラによる撮影結果の静止画を表示する情報処理装置であって、静止画を撮影した撮影時間帯を識別可能に表示するタイムラインと、静止画を表示する表示領域と、を表示する制御をおこなう表示制御手段と、表示制御手段により表示領域に静止画を表示している間に所定の条件を満たした場合には、所定の条件を満たしていることを通知する通知手段と、を備えることを特徴とする。また、本発明は、カメラによる撮影結果の静止画を表示する情報処理装置であって、静止画を撮影した撮影時間帯を識別可能に表示するタイムラインと、静止画を表示する表示領域と、を表示する制御をおこなう表示制御手段を備え、表示制御手段は、カメラにより撮影されたライブ動画を表示領域に表示する制御、及び、静止画を撮影した撮影時間帯のうち、表示済みのライブ動画を撮影した撮影時間帯をタイムラインに識別可能に表示する制御をおこなうことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明は、カメラによる撮影結果の静止画を表示する情報処理方法であって、静止画を撮影した撮影時間帯を識別可能に表示するタイムラインと、静止画を表示する表示領域と、を表示する制御をおこなう表示制御工程を含み、表示制御工程は、表示済みの静止画を撮影した撮影時間帯をタイムラインに識別可能に表示する制御をおこなうことを特徴とする。また、本発明は、カメラによる撮影結果の静止画を表示する情報処理方法であって、静止画を撮影した撮影時間帯を識別可能に表示するタイムラインと、静止画を表示する表示領域と、を表示する制御をおこなう表示制御工程と、表示制御工程により表示領域に静止画を表示している間に所定の条件を満たした場合には、所定の条件を満たしていることを通知する通知工程と、を含むことを特徴とする。また、本発明は、カメラによる撮影結果の静止画を表示する情報処理方法であって、静止画を撮影した撮影時間帯を識別可能に表示するタイムラインと、静止画を表示する表示領域と、を表示する制御をおこなう表示

制御工程を含み、表示制御工程は、カメラにより撮影されたライブ動画を表示領域に表示する制御、及び、静止画を撮影した撮影時間帯のうち、表示済みのライブ動画を撮影した撮影時間帯をタイムラインに識別可能に表示する制御をおこなうことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明は、情報処理装置を、前述した情報処理装置の各手段として機能させるための情報処理装置プログラムである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本発明によれば、ユーザが確認すべき映像を特定し易くすることができる。